

施策評価シート	評価対象年度		計画		4年目		この施策を記入する課等		農林課/道路河川課/農業委員会事務局													
	評価者	産業振興部長	担当者	農林課長	担当者	農業委員会事務局長																
基本目標 6	活力と賑わいのある自立したまち																					
基本施策 11	多様な産業の活力あふれるまちづくり																					
施策 28	総合戦略	農業の活性化																				
施策の目指す姿	須坂の土地や気候を活かした付加価値の高い農業が活発に行われ、市内外から新規就農する人が生まれるまちを目指します。																					
SDGsとの関連	(目標)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	実施手段・パートナーシップ			
成果指標	指標名	単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	達成率	達成率の主な要因等															
	農業産出額	千万円	866 (2018)	1,204	950	126.7	2023年実績 果樹の生産が好調のため															
	「農業の活性化」の満足度	%	33.4 (2019)	40.8 (意識調査'23)	40	102	特に果樹等の生産地として知名度が浸透したため															
	年間就農相談件数	件	46 (2019)	51	50	102	2023実績 各種新規就農の取り組みが効果を上げているため															
プロセス指標	指標名	単位	現状値(年度)	実績値	目標値(2025)	進捗状況評価	進捗状況の主な要因等															
	新規就農研修給付金給付者数	人	57 (2019)	104	107 (累計)	A	2024実績 きめこまやかな相談などの取り組みが効果を上げている。															
	耕作放棄地解消面積	ha	57.5 (2019)	72.7	82.5 (累計)	C	2024実績 補助金等を活用した解消が進んでいる一方、耕作条件が悪い畑は解消が難しい。															
	中間管理事業を活用した農地の集約集積面積	ha	5 (2019)	37.5	25 (累計)	A	2024実績 各種会議等を活用し制度の周知がすすんでいるため、当初目標を上回る効果を上げている。															
施策に関連する主な事務事業の評価																						
事務事業名(◆実計)	I 必要性	II 有効性	III 効率性	評価コメント												今後の方向性	事業	コスト				
中山間施設管理事業	やや低い	有効	変わらない	施設の利用状況はそれぞれ濃淡があるが、市で管理運営する必要がないと思われるものについては地元への譲渡又は廃止を検討していく必要がある。												縮小	縮小					
農業振興対策事業	高い	有効	変わらない	果樹を中心とした農業の振興及び農地の維持のため、引き続き市による取り組みを進める必要がある。												現状維持	現状維持					
◆鳥獣被害防止対策事業	高い	大変有効	変わらない	電気柵による農作物の被害軽減が効果を上げているが、老朽化や地域住民の高齢化による管理負担の増大が課題となっているため引き続き取り組みを進める必要がある。												現状維持	現状維持					
◆農業後継者対策事業	高い	大変有効	変わらない	新規就農者は増加しており、今後の農業担い手育成のためにも引き続き市で取り組みを進めていく必要がある。												現状維持	現状維持					
農業経営基盤強化対策事業	高い	有効	変わらない	担い手への農地の利用集積など基盤強化に一定の効果をおよぼしており、引き続き市で取り組みを進めていく必要がある。												拡充	現状維持					
◆遊休農地解消対策事業	高い	有効	変わらない	中山間地域など遊休農地に対する課題は経済性だけでは解決できないため、引き続き市が主体的に取り組んでいく必要がある。												現状維持	現状維持					
産地ブランド推進事業	高い	有効	変わらない	これまで交付金等を活用し販路拡大事業等を行ってきたが、交付金終了後においても市農産物のブランド化について、引き続き可能な限り取り組んでいく必要がある。												現状維持	現状維持					
畜産総合対策事業	やや低い	有効	変わらない	畜産農家の減少に伴い、近隣市町村と共同して効率的な対策を進めていく必要がある。												縮小	縮小					
◆農業施設整備事業	必要不可欠	有効	変わらない	老朽化した施設の維持更新は農業に不可欠であるため、今後も地元と共同して取り組みを進めていく必要がある。												現状維持	現状維持					
◆農道改良事業	高い	有効	変わらない	地元の要望を調整して事業を実施する。												現状維持	現状維持					
◆水路改修事業	高い	有効	やや向上	地元からの要望が多いため優先度等を考慮して実施する。												現状維持	現状維持					
◆農道・水路補修事業	高い	有効	向上	地元からの要望が多いため緊急性の高い場所から事業を実施する。												現状維持	現状維持					
◆基盤整備促進事業	普通	普通	変わらない	地元要望や事業の対象となる箇所が無いため事業を縮小する												縮小	縮小					
農業委員会運営費	必要不可欠	大変有効	やや向上	高齢化や不在村地主などの増加に伴い、不耕作農地が増加している。地元農業委員や推進委員の農地相談の増加、複雑化が顕著。また相続登記の義務化や農地法の改正により、農地事務量の増となっている。												現状維持	現状維持					

